

私がいるとは、どういうことなのでしょう。 ～難病ALS患者を見つめて～



今日を 笑っていきたい

©HanaTakemoto

写真家

武本花奈氏

第25回1月9日(木)13:00～14:30
@ 津田塾大学特別教室



写真家・ライター。埼玉県熊谷市出身。
都内コマーシャルスタジオに勤務後、独立。
2014年、ALS患者藤元健二氏と闘病記を制作し、その後もALS患者とその生活を取り続けている。2018年より全国で『THIS IS ALS～難病ALS患者からのメッセージ～』と題した写真展を展開。ALS関連撮影書籍として「閉じ込められた僕」藤元健二 著（中央公論新社）、
「孤独は消せる」吉藤健太郎 著(サンマーク出版)などがある。

《担当者から》

皆さんは、ALSという病気を知っていますか。筋肉が萎縮していく進行性の難病です。武本さんは、自身も脳に腫瘍を抱えながら、ALS患者の写真を撮り続け、彼らに向かい続けています。難病に向き合うとは、自分の生に向き合うとは、どのようなことなのでしょう。